



# 名鍍会報告

H20. 5

3月29日(土)～30日(日)に、日本鍍金協会の年次大会が、今回は十日会の当番幹事にて、熱海の「旅館 立花」で行なわれました。朝10時半に名古屋駅で集合して、11時発の新幹線「こだま」に乗り、2時間ぐらいで熱海駅に着きました。熱海駅では十日会の方が出迎えてくださいました。青研会の方も来て、三会集まったところでもまずMOA美術館に行きました。

ここは岡田茂吉という方が「熱海にも世界的な美術館を建設し、日本の優れた伝統文化を世界の人々に紹介したい」との願いを継承して Mokichi Okada Association の頭文字を冠するMOA美術館をつくったそうです。展示物で有名のものでは、「紅白梅 図屏風 尾形光琳筆」とか「色絵藤花文茶壺 野々村仁清作」などだそうです。この日は「所蔵 浮世絵展」を開催していて、さまざまな浮世絵が展示されていました。



MOA 美術館前にて



記念撮影

MOA美術館を見学した後、旅館に入り年次大会を開催しました。今回の参加者は、総勢48名、来賓1名で行われました。JES報告、決算、各会報告、会長交代、新会長挨拶を行い、東京都鍍金工業組合 副理事長の神谷博行様にお祝辞を頂戴し、無事終わることが出来ました。



神谷新 JES 会長挨拶



金色夜叉 貫一、お宮像

総会後の懇親会は、神谷 篤(名鍍会・竹田鍍金) J E S 新会長の挨拶の後、盛大に楽しく行われました。

次の日は、旅館から歩いて熱海駅まで行き、その途中の熱海サンビーチにあるお宮の松と寛一お宮像を見ながら帰りました。熱海は初めてでしたけれど、温泉もよくとても楽しくかつ有意義な年次大会でありました。

R. I 記